

皮膚科に通院中の（または過去に通院・入院されたことのある）
患者さんまたはご家族の方へ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、研究用に保管された検体を用いて行います。このような研究は、厚生労働省の「臨床研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開しております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] ながしまがたしょうせいかくかしょう 長島型掌蹠角化症に対するリードスルー治療の確立についての研究

* 「リードスルー治療」とは？

生体に必要なタンパク質の設計図である遺伝子に変異（遺伝子に生じた傷）が存在すると、タンパク質が作られなくなることがあります。このような変異を「無視」させてタンパク質を正常に作らせる治療のことをリードスルー治療といい、一部の抗生物質にはこのような働きがあるとされています。

[研究機関] 北海道大学病院皮膚科

[研究責任者] 乃村 俊史 （医学研究科皮膚科学分野・助教）

[研究の目的] ながしまがたしょうせきかくかしょう 長島型掌蹠角化症の治療法を開発するため

[研究の方法]

●対象となる患者さん

ながしまがたしょうせきかくかしょう

長島型掌蹠角化症の患者さんで、平成 25 年 12 月 1 日から平成 26 年 1 月 31 日の間に皮膚疾患の研究用の皮膚の保管に同意された方

●利用する検体およびカルテ情報

検体：皮膚（以前に研究用としての保管に同意いただいた分）

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究に検体を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

北海道札幌市北 14 条西 5 丁目

北海道大学病院皮膚科 担当医師 大口由香、水野 修、乃村俊史

電話 011-706-7387 FAX 011-706-7820